

JIS L 0217を引用している12規格のJISが 追補改正されました！

2020年2月20日にJIS L 0217(繊維製品の取扱いに関する表示記号及び表示方法)を引用している12規格のJISが追補改正されました。

2014年10月にISO3758に整合したJIS L 0001(繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法)が公示されました。また、JIS L 0217に代わりJIS L 0001の引用による繊維製品品質表示規程の一部改正が、2016年12月1日付けで施行され、すでに3年以上経過しています。このため、JIS L 0217の廃止を前提として、この規格を引用している12規格をJIS L 0001及び関連規格(JIS L 1930、L1931-2、L1931-3及びL1931-4)に置き換えるための追補改正(一つの事項についてのみ改正)が行われました。

基本的な修正方針は表1の通りであり、主に機能表示に関わる規格の改正点を表2に、その他の追補改正の規格一覧を表3に示します。

表1 JIS L 0217を引用している規格の主な修正方針

改正前	改正後
JIS L 0217の付表1 [記号別の試験方法－洗い方(水洗い)]	JIS L 1930の附属書F [C形基準洗濯機(パルセータ式)の洗濯方法仕様書]
JIS L 0217 103法	JIS L 1930 附属書F C4M
JIS L 0217 104法	JIS L 1930 附属書F C4G
JIS L 0217 106法	JIS L 1930 附属書F C4H
JIS L 0217 401法	JIS L 1931-2パークロロエチレンによる ドライクリーニング試験方法

表2 主に機能表示に関わる規格の改正点

JIS番号	JIS名称	主な変更点
L1092	繊維製品の防水性試験方法	103→C4M[はっ水度や耐水度に関わる]
L1094	織物及び編物の帯電性試験方法	103→C4M
L1919	繊維製品の防汚性試験方法	103→C4M

※はっ水を表示する表示者は、JIS L 1092の改正内容を理解し、製品の洗濯表示(例えば、C4Nの表示をしている場合)が規定の処理方法(C4M)より厳しい場合には、より適切な前処理条件を検討すべきである。

表3 その他の追補改正の規格一覧(表2以外)

JIS番号	JIS名称	JIS番号	JIS名称
L1060	織物及び編物のブリーツ性試験方法	L1917	繊維製品の表面フラッシュ燃焼性試験方法
L1062	織物の目寄せ試験方法	L3416	面ファスナ
L1086	接着芯地及び接着布試験方法	L4107	一般衣料品
L1096	織物及び編物の生地試験方法	L4212	繊維製防水シート
L1905	繊維製品のシームパッカリング評価方法		

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京機能性試験センター

担当：坂井

〒135-0001

東京都江東区毛利 1-12-1

TEL:03-5669-1415 FAX:03-5669-1416

東京試験センター

担当：権野

〒135-0001

東京都江東区毛利 1-12-1

TEL:03-5669-1380 FAX:03-5669-1381